

A S E A N + 3 首脳会議議長声明骨子

- 19年にわたるA S E A N + 3における協力の深化に満足の意を確認するとともに、東アジア地域の平和、安全、繁栄を推進する原動力として更に協力を深めていくことを再確認。
- A S E A N + 3協力作業計画（2013年～17年）の実施に前向きな進展がみられたことに留意。
- 伝統的・非伝統的安全保障分野における協力を更に強化することで一致。テロ、暴力的過激主義、国境を越える犯罪、サイバーセキュリティ、海洋安全保障、気候変動、防災、持続可能な水資源管理、食料安全保障、エネルギー安全保障、パンデミック及び貿易に関するキャパシティ・ビルディングなど新たな課題に対処する努力を強化する必要性を強調。
- 東アジア地域包括的経済連携（R C E P）前進に向けた交渉努力に留意。
- 東アジア・ビジネス・カウンシルによる地域の経済統合努力を確認。
- A S E A N + 3マクロ経済調査事務局（A M R O）の国際機関化を歓迎。
- 実務協力の鍵となるA S E A N + 3観光協力覚書の署名を歓迎。
- A S E A N + 3緊急米備蓄協定は、地域食料安保や貧困削減に資する枠組みとして重要な役割を有していることを強調。
- 効果的なエネルギー安全保障政策の発展のための日中韓三か国の協力を確認。
- 地域の連結性向上のためのインフラ金融の需要に応えるため、アジアインフラ投資銀行（A I I B）の進展と質の高いインフラ輸出拡大イニシアティブを歓迎。
- 朝鮮半島の動向につき議論し、地域の平和、安定、安全の維持の重要性を強調した。関連する国連安保理決議に違反する、北朝鮮による核実験や弾道ミサイル技術を用いた発射を含む朝鮮半島における最近の動向に対して深刻な懸念を表明した。朝鮮半島における信頼醸成活動の重要性、国連安保理決議第2270号を含む全ての関連する国連安保理決議の完全な遵守の必要性及び2005年9月19日の六者会合共同声明の下でのコミットメントを全ての関係者が遵守することの必要性を強調した。朝鮮半島の平和的な非核化に資する六者会合の早期再開のために必要な条件を作り出すことの重要性を強調した。

（了）